

【水と宇宙とテラヘルツ波】

宇宙空間の温度は -270°C と言われているが、そこから計算すると波長は1000ミクロン前後でこの波長はテラヘルツ領域になる。また、月の夜間温度は -170°C であり、月から放射される電磁波もピーク波長はテラヘルツ領域になる。

この宇宙から放射されるテラヘルツ波＝生命エネルギーを最も効率よく吸収しているのが「水」である。水は、テラヘルツ波をバッテリーのように蓄積して、他に放射するという性質を持っている。

人間の身体は60～70%が水分、脳は85%が水で出来ている。この様に考えると、生命は宇宙から降り注ぐテラヘルツ波を身体に蓄積することで生命エネルギーを得ていると考える事も出来る。

【分子と分子を繋ぐ働きを持つテラヘルツ波】

テラヘルツ波は、分子を繋ぐ働きがあることも解明されている。

分子と分子の間の繋ぎ目部分の振動がテラヘルツ帯の周波数となっている。

テラヘルツ波は、水に最も共鳴し反応することがわかっています。

人の体は、60～70%が水でできていますから、テラヘルツ波が人体に大きな影響を与えます。

身体の脂肪や毒素は水分子と水分子の間に挟まれています。

水分子同士がしっかり結合している状態では、脂肪や毒素は動けません。

そこで外部からテラヘルツ波を取り込むと、水分子が動かされ、分子の結合が緩やかになります。それにより有機物や脂肪が解放され、体外に排出されるのです。

テラヘルツ波には体内の不要物のクリーンアップ作用があります。

テラヘルツ波による共振現象は、人体を構成する分子や水の水素結合を分離します。

すると細胞が活性化され、赤血球のルロー状態（ドロドロの血液）が分離・浄化されるのです。それにより血流が改善され、血液がサラサラになり、酸素や栄養素を効率よく運ぶことができ、健康で美しい身体へと導いていきます。

ペテルブルグの物理学者が衝撃の発言！

「テラヘルツ波の利用で人間の寿命は40年延びる」

<http://jp.sputniknews.com/science/20150512/323783.html>

近い将来、ペテルブルグの物理学者らは、「テラヘルツ波」を用いたチップを開発し、それにより、人間の寿命は40年ほど延長するかも知れない。当ラジオの取材に対し、サンクトペテルブルグ国立工科大実験物理学部のニコライ・バグラエフ教授が語った。

ところで、テラヘルツ波というのは何か？バグラエフ氏の言葉を引く。

「テラヘルツ波というのは、電波と光波の境目にある電磁波である。スペクトルでいうと、自然界にあるテラヘルツ波源としては、焚き火のあとの、くすぶっている石炭や、くすぶっている枯れ草などがある。ついでに言えば、それらから出るテラヘルツ波に薬効がある

ことは、昔の呪術師たちも知っていた。彼は、くすぶっている枯れ草を、患者の患部に当ててなどした。

いま、学会では、テラヘルツ波への関心が熱い。利用は様々な方面で進められているが、やはり特に、医学会の関心が高い。テラヘルツ波で人間の臓器中の無数の化学反応が活性化される。一種の触媒、活性剤の役割を果たすのである。酵素不足も補うことができる」

テラヘルツ波は多くの疾病の治療に有効である、とバグラエフ氏。

「筆頭は多発性硬化症やアルツハイマー病などの高次神経活動疾患である。これら馴染みの疾病の治療にテラヘルツ波を利用するべく、現実的一步を踏み出した。抗ショック・抗やけどシステムは完成している。

テラヘルツ波を応用した機器は既に関節症や関節炎の治療に成果を出している。

脳梗塞後のテラヘルツ波セラピーも高い成果を出している」

テラヘルツ波は糖尿病治療にも役立てられる見込みである。患者がたとえインスリンが足りていない状態であっても、血中糖分の細胞組織への移動を促進してくれる。

糖尿病につきものの末端潰瘍や壊死がこれで防止される。またテラヘルツ波は酸素にとっても一種の「運び屋」の役を果たし、貧血症の予防に役立つことが期待される。

また長期的には老化防止の役割も果たしうる、とバグラエフ氏。

「人体の生化学構造全体が安定する。代謝反応も、酸素の運搬も、その他の反応も。神経活動や運動機関も色々と安定する。心臓その他器官に必要なナトリウムやカリウムの供給も行われる。各個体に合わせて照射のレベルを調整すれば、人体は時計のように正確に作

動する。まさしく、夢のオーダーメイド医療への道である。寿命の延長もここから来る。寿命は40年も延長するだろう」

テラヘルツ波を医療に用いるべくロシアで最初の機器が作られたのは、実に1970年代のことである。当時は重厚長大な代物が拵えられた。バグラエフ氏とその指導するペテルブルグの物理学研究チームが作った、「サイラトロン」と呼ばれるテラヘルツ波装置は、どのような外観をしているのだろうか。

「もはやあらゆるものを放射装置に出来る。産品や利用の証明にも、また医療現場でも、実際に使われている。また、サイラトロンは、サーモグラフィなど、様々な診断用機器と併用することが出来る。

なにぶんテラヘルツ波は電離放射ではないので、人体に何ら害毒をなすことがない。問題は別のところにある。コンパクトな放射装置を大量生産し、各病院といわず、各個人がそれを持てるようにすることだ。

さらに、個々人の生体の日常的修正ということならば、チップにまで小型化し、人体に埋め込むことだ」

人間の寿命を延長するべく、いまペテルブルグの物理学者らは、チップの開発に勤しんでいる。魔法のテラヘルツ波をこんな方法で利用することなど、むかしの呪術師らは夢にも思わなかったことだろう。

<http://jp.sputniknews.com/science/20150512/323783.html>